

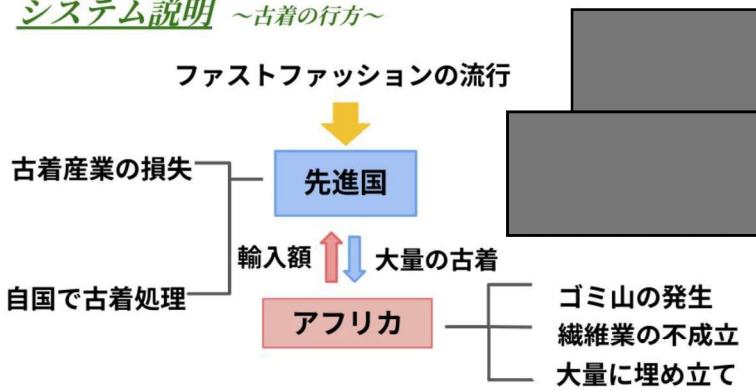
Win²な古着リサイクル

システム説明 ~古着の行方~

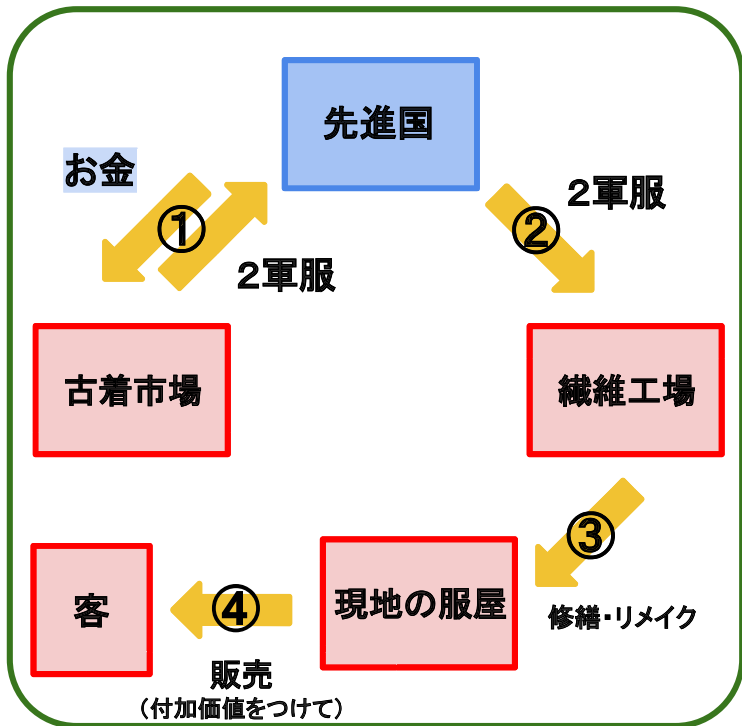
ファストファッションの流行

古着産業の損失

自国で古着処理



③雇用問題で導入するサイクルの構図



* 2軍服: 市場で売られている服で、まだ着られるが破れていたたりして買い手が見つからない服

初めは先進国の寄付によって2軍古着を買い取り、繊維工場へ無料で引き渡す。そこで修繕やリメイクをして付加価値をつけて販売することで、現地の服屋に利益が生じる。蓄積した利益を利用すれば2軍古着を仕入れる事ができるようになるので、将来的には先進国の寄付なしに途上国内で産業が確立されることとなる。

考察

①先進国からの古着輸出をストップさせると、?

▶先進国側で新たな問題(古着産業の消失・自国処理による環境悪化)が発生

▶事実として先進国側の力が強いいため輸出停止は非現実的

『輸出入関係は崩さず途上国にフォーカスをあてる』

★Point★ 両者にとってのWinWinな関係

先進国: 古着を途上国に送り続けることができる

途上国: 現状の改善(諸問題の解決、経済発展)

②環境問題

1ゴミ処理法の確立

古着を燃えるゴミとして現地で処理・発電し、ジェット燃料として活用

2不足地域への輸送

該当地域への直送ルート開拓、道路の施工

▶年数を要するが、実現は可能

③雇用問題は新しいサイクルの導入で解決?

▶途上国都市部の雇用問題は、右上図より改善されると推測できる

結論

先進国のwinは途上国に古着を送り続けられることであり、途上国のwinは現状の改善・経済発展である。この問題では、先進国は古着を途上国に送り続けることを前提に途上国側の状況を改善させる必要がある。

考察した案は課題解決に近づくものと考えられるが、その根拠や現実性に欠けるため、さらなる検証・調査が必要になる。

展望

②③が実現可能かどうかをより細かくデータを用いて検証する。

*参考文献

- 株式会社NIPPON47の記事
- 「アフリカ人はどんな服でも着ると?」ガーナで聞いた古着商の憤り
- 「世界中の善意がアフリカの産業を殺している」古着リサイクルに秘められた不都合な真実
- 着られなくなった衣服の“末路”とは…
- 【アフリカの危機】古着リサイクルの「闇」を暴露します
- 古着の寄付の裏側: アフリカでの現状とは?
- 古着回収業界の秘密を暴くと、アフリカの行商人は一日に 370万円を稼ぎ、番狂わせの暴利業界だ